

# 令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	数学 I ①	単位数	2 単位
-----	--------	-----	------

## 1 科目の目標

- ・ 基本的な数学の知識の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を伸ばす。
- ・ 数学的な見方や考え方を認識出来るようになる。
- ・ 中学を含む既習範囲の確認と、方程式・不等式についての理解を深める。

## 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (態)
評価の観点	① 数学的な言葉や記号の定義を理解している。 ② 法則や公式を理解し、これらを用いて方程式を解くなどの計算ができる。 ③ 関数のグラフを、xy平面にかくことができる。 ④ 図形やグラフを用いて、方	① 計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ② 問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③ グラフの特徴を捉え、問題の意図に沿うようグラフを考察し、問題を解決する筋道を思考することができる。	① 授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ② ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③ 具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④ 自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤ 問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a: 十分満足できる状況 b: おおむね満足できる状況 c: 努力を要する状況	a: 十分満足できる状況 b: おおむね満足できる状況 c: 努力を要する状況	a: 十分満足できる状況 b: おおむね満足できる状況 c: 努力を要する状況

## 3 評価方法と評価の場面

知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (態)
・ 定期考査①～④の成績 ・ 授業中の演習問題の解答内容 ・ レポートの完成度	・ 定期考査①～④の評価該当箇所の成績 ・ 授業中の演習問題の解答方法 ・ レポートの完成度 ・ 授業中の回答 ・ 話し合いの中での発言	・ 授業での説明を聞く態度 ・ ノートをしっかりとっているか ・ 問題集を自主的に進めている ・ レポートの完成度 ・ 話し合いの中での発言 ・ 生徒の自己評価

## 4 年間指導計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	中学校の復習	定期考査①	22
	5月	1章 数と式 1節 整式		
	6月	整式の加法・減法 整式の乗法 乗法公式による展開		
	7月	因数分解	定期考査②	18
	8月			
9月	2節 実数 平方根とその計算 実数			
後 期	10月	3節 方程式と不等式	定期考査③	20
	11月			
	12月	1次不等式	定期考査④	18
	1月	2章 2次関数 1次関数とそのグラフ		
	2月	1節 関数とグラフ 2次関数とそのグラフ		
3月				

## 5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

- ・ 授業をしっかりと聞き、実際に手を動かして問題を紙の上に解いてみる。
- ・ 教科書1冊を、① ② に分け、2年間で学習する。

## 6 教科書・副教材

教科書…高校数学 I 新訂版 (実教出版) 副教材…高校数学 I スタディーノート (実教出版)

## 令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	数学 I ②	単位数	2単位
-----	--------	-----	-----

### 1 科目の目標

- ・ 基本的な数学の知識の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を伸ばす。
- ・ 数学的な見方や考え方を認識出来るようになる。
- ・ 「放物線」「三角比」「集合」「データの分析」についての理解を深める。

### 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (態)
評価の観点	① 数学的な言葉や記号の定義を理解している。 ② 法則や公式を理解し、これらを用いて方程式を解くなどの計算ができる。 ③ 関数のグラフを、xy平面にかくことができる。 ④ 図形やグラフを用いて、方程式・不等式・その他の事象を説明できる。	① 計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ② 問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③ グラフの特徴を捉え、問題の意図に沿うようグラフを考察し、問題を解決する筋道を思考することができる。	① 授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ② ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③ 具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④ 自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤ 問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a: 十分満足できる状況	a: 十分満足できる状況	a: 十分満足できる状況
	b: おおむね満足できる状況	b: おおむね満足できる状況	b: おおむね満足できる状況
	c: 努力を要する状況	c: 努力を要する状況	c: 努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (態)
・ 定期考査①～④の成績 ・ 授業中の演習問題の解答内容 ・ レポートの完成度	・ 定期考査①～④の評価該当箇所の成績 ・ 授業中の演習問題の解答方法 ・ レポートの完成度 ・ 授業中の回答 ・ 話し合いの中での発言	・ 授業での説明を聞く態度 ・ ノートをしっかりとっているか ・ 問題集を自主的に進めている ・ レポートの完成度 ・ 話し合いの中での発言 ・ 生徒の自己評価

### 4 年間指導計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	2章 2次関数	定期考査①	22
	5月	2節 2次関数の値の変化		
	6月	3章 三角比		
	7月	1節 三角比	定期考査②	18
8月	2節 三角比の応用			
9月				
後 期	10月	4章 集合と論証	定期考査③	20
	11月	1節 集合 2節 命題と証明		
	12月	5章 データの分析	定期考査④	18
	1月	1節 整理 2節 分析 3節 統計処理		
	2月	課題学習		
3月				

### 5 学習にあたってのアドバイスと注意事項

- ・ 授業をしっかりと聞き、実際に手を動かして問題を紙の上に解いてみる。
- ・ 教科書1冊を、① ② に分け、2年間で学習する。

### 6 教科書・副教材

教科書…高校数学 I (実教出版)      副教材…高校数学 I スタディーノート (実教出版)

## 令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	数学Ⅱ	単位数	4単位
-----	-----	-----	-----

### 1 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Ⅰの基本的な見方や考え方の上に立ち、更なる知識の習得と技能の習熟を図る。</li> <li>・17世紀以降、飛躍的に発展してきた数学の一端に触れる。</li> <li>・「図形」「計算」「関数」「微分積分」についての理解を深める</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	①数学的な言葉や記号の定義を理解している。 ②法則や公式を理解し、これらを用いて様々な計算ができる。 ③問題に応じて、関数のグラフや接線を描くことができる。 ④図や図形を用いて、微分・積分の図形的な事象を説明できる。	①計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ②問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③問題の意図に沿うようグラフや図形を考察し、問題を解決する筋道を思考することができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	・定期考査①～④の成績 ・授業中の演習問題の解答内容 ・レポートの完成度	・定期考査①～④の評価該当箇所の成績 ・授業中の演習問題の解答方法 ・レポートの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・ノートをしっかりとっているか ・問題集を自主的に進めている ・レポートの完成度 ・話し合いの中での発言 ・生徒の自己評価

### 4 年間の学習計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 ( 予 定 )
前 期	4月	1章 複素数と方程式	定期考査①	44
	5月	1節 式の計算 2節 複素数と2次方程式		
	6月	3節 高次方程式 4節 式と証明		
	7月	2章 図形と方程式		
	8月	1節 点と座標 2節 直線の方程式 3節 円の方程式		
	9月	4節 不等式の表す領域		
後 期	10月	3章 いろいろな関数	定期考査③	40
	11月	1節 三角関数 2節 加法定理・弧度法		
	12月	3節 指数関数 4節 対数関数		
	1月	4章 微分と積分	定期考査④	36
	2月	1節 微分係数と導関数		
	2月	2節 導関数の応用		
	3月	3節 積分の考え		

### 5 学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業をしっかりと聞き、実際に手を動かして問題を解いてみる。</li> <li>・基本的には教科書の内容なので、教科書にある問題を理解する。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	数学A	単位数	2単位
-----	-----	-----	-----

1 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「順列」「組合せ」「確率」「図形」の基本的な考え方を理解する。</li> <li>・数学的な見方や考え方などを認識出来るようになる。</li> <li>・身の回りの生活に即した数学の理解を深める。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	①数学的な言葉や記号の定義を理解している。 ②法則や公式を理解し、これらを用いて様々な計算が、できる。 ③問題に応じて、円や三角形などの図形を描くことができる。 ④図や図形を用いて、場合の数や図形的な事象を説明できる。	①計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ②問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③問題の意図に沿うよう図形を考察し、問題を解決する筋道を思考することができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

3 評価方法と評価の場面

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	・定期考査①～④の成績 ・授業中の演習問題の解答内容 ・レポートの完成度	・定期考査①～④の評価該当箇所の成績 ・授業中の演習問題の解答方法 ・レポートの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・ノートをしっかりとっているか ・問題集を自主的に進めている ・レポートの完成度 ・話し合いの中での発言 ・生徒の自己評価

4 年間の学習計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 ( 予 定 )
前 期	4月	1章 順列と組合せ	集合と要素 和の法則と積の法則 順列 組合せ	22
	5月	1節 集合 2節 順列 3節 組合せ		
	6月			
後 期	7月	2章 確率	事象と確率 独立な試行と確率 反復試行の確率 条件つき確率	18
	8月	1節 確率とその基本性質		
	9月			
後 期	10月	4章 図形の性質	基本の作図 いろいろな作図 三角形の角 三角形と線分の比 三角形の外心・内心・重心	20
	11月	1節 作図 2節 三角形の性質		
	12月	3節 円の性質		
	1月	4節 空間図形		
	2月	課題 学習		
	3月		定期考査④	18

5 学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業をしっかり聞き、実際に手を動かして問題を解いてみる。</li> <li>・基本的には教科書の内容なので、教科書にある問題を理解する。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 教科書・副教材

教科書…数学A (実教出版)	副教材…数学A スタディーノート (実教出版)
----------------	-------------------------

## 令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	数学B	単位数	2単位
-----	-----	-----	-----

### 1 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数列」と「統計的な推測」についての理解を深める。</li> <li>・数I、数A、数IIの学習に加えて、更なる知識の理解と技能の習熟を図る。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	①数学的な言葉や記号の定義を理解している。 ②「数列」「統計的な推測」の原理・法則を体系的に理解している。 ③数列の基本的な公式を理解し、一般項や数列の和を求めることができる。 ④データを統計的な処理がしやすいように表にまとめることができる。	①計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ②問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③社会生活の事象を数値化し、数列や統計的手法を用いて、表現・処理することができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a: 十分満足できる状況	a: 十分満足できる状況	a: 十分満足できる状況
	b: おおむね満足できる状況	b: おおむね満足できる状況	b: おおむね満足できる状況
	c: 努力を要する状況	c: 努力を要する状況	c: 努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	・定期考査①～④の成績 ・授業中の演習問題の解答内容 ・レポートの完成度	・定期考査①～④の評価該当箇所の成績 ・授業中の演習問題の解答方法 ・レポートの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・ノートをしっかりとっているか ・問題集を自主的に進めている ・レポートの完成度 ・話し合いの中での発言 ・生徒の自己評価

### 4 年間の学習計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 ( 予 定 )
前 期	4月	1章 数列 1節 数列 2節 漸化式と数学的帰納法	数列 等差数列 等比数列 和を記号 $\Sigma$ 階差数列 いろいろな数列	定期考査①  22
	5月			
	6月			
	7月	漸化式と数列 数学的帰納法	定期考査②  18	
8月	2章 統計的な推測 母集団と標本			
9月	1節 標本調査 無作為抽出の方法			
後 期	10月	2節 確率分布 3節 正規分布	確率変数と確率分布 確率変数の平均と分散 確率変数の和と積 二項分布 正規分布	定期考査③  20
	11月			
	12月			
	1月	4節 統計的な推測 母集団の分布 標本平均の分布 母平均の推定 仮説検定の方法	定期考査④  18	
	2月			
	3月			

### 5 学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業をしっかりと聞き、実際に手を動かして問題を解いてみる。</li> <li>・基本的には教科書の内容なので、教科書にある問題を理解する。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 6 教科書・副教材

教科書…高校数学B (実教出版) ・ 教科担当者の配布するプリント
-----------------------------------

令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	数学C	単位数	2単位
-----	-----	-----	-----

1 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベクトル」と「複素数平面」についての理解を深める。</li> <li>・数I、数A、数II、数学Bの学習に加えて、更なる知識の理解と技能の習熟を図る。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	①数学的言葉や記号の定義を理解している。 ②「ベクトル」「複素数平面」の原理・法則を体系的に理解している。 ③ベクトルの基本的な法則を理解し、作図や成分を用いて、ベクトルの和や差を求めることができる。 ④複素数の演算を複素平面と結び付け、その図形的意味を理解することができる。	①計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ②問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③大きさと向きをもった量に着目し、自然界や人間社会に起きる現象を数学的捉え、表現することができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

3 評価方法と評価の場面

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	・定期考査①～④の成績 ・授業中の演習問題の解答内容 ・レポートの完成度	・定期考査①～④の評価該当箇所 の成績 ・授業中の演習問題の解答方法 ・レポートの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・ノートをしっかりとっているか ・問題集を自主的に進めている ・レポートの完成度 ・話し合いの中での発言 ・生徒の自己評価

4 年間の学習計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	ベクトルとその意味	定期考査①	22
	5月	ベクトルの演算		
	6月	ベクトルの成分		
	7月	1章 ベクトル ベクトルの内積	定期考査②	18
8月	1節 平面上のベクトル 位置ベクトル			
9月	2節 ベクトルの応用 ベクトル方程式			
10月	3節 空間におけるベクトル 空間のベクトル			
後 期	11月	空間座標と空間のベクトル 空間のベクトルの内積	定期考査③	20
	12月	位置ベクトルと空間の図形		
	1月	3章 複素平面 複素数平面	定期考査④	18
	2月	1節 複素平面 複素数の極形式		
	3月	2節 図形への応用 ド・モアブルの定理		
4月	複素数の図形への応用			

5 学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業をしっかりと聞き、実際に手を動かして問題を解いてみる。</li> <li>・基本的には教科書の内容なので、教科書にある問題を理解する。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 教科書・副教材

教科書…高校数学C (実教出版) ・ 教科担当者の配布するプリント
-----------------------------------

令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	基礎の数学	単位数	2単位
-----	-------	-----	-----

1 科目の目標

・中学までに学習した数学の基本を確立し、計算力と数学的思考力を培うことにより就職試験に対応できるような応用力を培う。

2 科目の評価の観点と評価基準

評価の観点	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
	①整数・分数・小数の四則演算ができる。 ②方程式の変形原理を理解し、これらを用いて方程式を解くことができる。 ③量や速度の単位を理解し、適切な表現で解答できる。 ④図形の長さ面積などを適切な計算公式を用いて、値を求めることができる。	①計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ②文章問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③x y 平面上の図形の長さや面積を、座標を利用して求めることができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況	b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況

3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
・定期考査①～④の成績 ・授業中の演習問題の解答内容 ・レポートの完成度	・定期考査①～④の評価該当箇所 の成績 ・授業中の演習問題の解答方法 ・レポートの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・ノートをしっかりとっているか ・問題集を自主的に進めている ・レポートの完成度 ・話し合いの中での発言 ・生徒の自己評価

1 教科書・副教材

教科書…不使用 ・ 教科担当者の配布するプリント

2 科目の目標

・中学までに学習した数学の基本を確立し、計算力と数学的思考力を培うことにより就職試験に対応できるような応用力を培う。

3 年間の学習計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)	
小中学校の算数数学、数学Ⅰの基礎的な内容の復習を中心にドリル形式で問題を解き進める 不正解の問題を繰り返し学習することで理解を高める 毎回配布する自作プリントにより少人数授業を行う 四則計算・割合・方程式に加え、図形・パズル等で考える学習をする					
前期	4月	計算練習	基礎的な四則計算 文章題の解法 分数の通分・約分 分数の加減乗除算 文字式の計算	定期考査①	22
	5月				
	6月	就職用試験問題を使った演習	因数分解 1次方程式 2次方程式 生活に即した割合・百分率の計算 速度・時間・距離 ブラックボックス 推論	定期考査②	18
	7月				
8月					
後期	9月	教養としての数学演習	ナンプレの解析 数列 整数	定期考査③	20
	10月				
	11月	図形問題	辺の長さ・角度・面積・体積 正多角形 正多面体 円 球	定期考査④	18
	12月				
	1月				
2月	数学一般問題				
3月					

5 学習にあたっての注意とアドバイス

・授業は講義、プリント学習が中心であるので、授業をしっかりと聞き、実際に手を動かして問題を紙の上に解いてみる。  
・基本的には小中学校の内容があるが、恥ずかしがらず人に聞いて問題を理解し解き進める。

## 令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	わかる数学①	単位数	1単位
-----	--------	-----	-----

### 1 科目の目標

・計算力と数学的思考を培い、基本的な問題を正確に解けるようになる。

### 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	①数学的な言葉や記号の定義を理解している。 ②法則や公式を理解し、これらを用いて方程式を解くなどの計算ができる。 ③関数のグラフを、xy平面にかくことができる。 ④図形やグラフを用いて、方程式・不等式・その他の事象を説明できる。	①計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ②問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③グラフの特徴を捉え、問題の意図に沿うようグラフを考察し、問題を解決する筋道を思考することができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
・定期考査①～④の成績 ・授業中の演習問題の解答内容 ・レポートの完成度	・定期考査①～②の評価該当箇所の成績 ・授業中の演習問題の解答方法 ・レポートの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・プリントをしっかりとやっているか ・話し合いの中での発言 ・生徒の自己評価

### 4 年間の学習計画

		学習の内容	考査範囲	時数(予定)
		小中学校の復習を中心にドリル形式で問題を解き進める 不正解の問題を繰り返し学習することで理解を高める 毎回配布する自作プリントにより少人数授業を行う 四則計算・割合・方程式に加え、図形パズル・数独等で考える学習をする		
前期	4月	四則計算練習	整数の正負の計算 分数・小数の計算 文字式のきまり	定期考査①
	5月			
	6月			
	7月	計算練習	割合・%の計算 濃度計算 速度と距離	定期考査②
	8月			
9月				

### 5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

・授業は講義、プリント学習が中心である。授業をしっかり聞き、実際に手を動かして問題を紙の上で解いてみる。  
 ・基本的には小学校の内容であるが、恥ずかしがらず人に聞いて、問題を理解して解き進める。

### 6 教科書・副教材

教科書…不使用      ・      教科担当者の配布するプリント

## 令和8年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	わかる数学②	単位数	1単位
-----	--------	-----	-----

### 1 科目の目標

・計算力と数学的思考を培い、基本的な問題を正確に解けるようになる。

### 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	①数学的な言葉や記号の定義を理解している。 ②法則や公式を理解し、これらを用いて方程式を解くなどの計算ができる。 ③関数のグラフを、xy平面にかくことができる。 ④図形やグラフを用いて、方程式・不等式・その他の事象を説明できる。	①計算の順序を考え、効率的に計算することができる。 ②問題の条件や目的から、どの公式や法則を活用すればよいか判断することができる。 ③グラフの特徴を捉え、問題の意図に沿うようグラフを考察し、問題を解決する筋道を思考することができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③具体的な事象の考察に、数学を活用しようとしている。 ④自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ⑤問題の解決課程を振り返り、評価・改善しようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況	a:十分満足できる状況 b:おおむね満足できる状況 c:努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
・定期考査①～④の成績 ・授業中の演習問題の解答内容 ・レポートの完成度	・定期考査①～④の評価該当箇所の成績 ・授業中の演習問題の解答方法 ・レポートの完成度 ・授業中の回答 ・話し合いの中での発言	・授業での説明を聞く態度 ・プリントをしっかりとやっているか ・話し合いの中での発言 ・生徒の自己評価

### 4 年間の学習計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)	
		小中学校の復習を中心にドリル形式で問題を解き進める 不正解の問題を繰り返し学習することで理解を高める 毎回配布する自作プリントにより少人数授業を行う 四則計算・割合・方程式に加え、図形パズル・数独等で考える学習をする			
後期	10月	計算練習	ルートの計算 一次方程式	定期考査③	20
	11月				
	12月	グラフの作図 計算練習	一次関数のグラフ 連立一次方程式	定期考査④	18
	1月				
	2月				
3月					

### 5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

・授業は講義、プリント学習が中心である。授業をしっかり聞き、実際に手を動かして問題を紙の上で解いてみる。  
・基本的には小中学校の内容であるが、恥ずかしがらず人に聞いて、問題を理解して解き進める。

### 6 教科書・副教材

教科書…不使用      ・      教科担当者の配布するプリント